









卓越した技能者

氏名（年齢）	職名	団体名・企業名 現住所	功績の概要
<p>石垣 裕 （ 50 歳）</p> 	調理人	<p>(株)JR北海道ホテルズ 札幌市豊平区</p>	<p>昭和63年から現在まで長きにわたり、日本料理に従事し、日本料理の伝統と基本を守りながら、新しい食材が生まれる中、その特徴を生かし現代的な感覚を備えた調理技術に新たな製法を加えた調理法を開発し、自ら持つ卓越した技術と感性をもって調理し商品化している。技能コンクールや技能競技大会をはじめとして多くの展示会等に出場しつつ、長年にわたって取得した調理技能をもって、事業所においてはもちろんのこと各種調理団体の人材育成・一般企業の調理人を始め、若い調理人の育成にも力を入れており、指導的立場で活躍し、全国の調理師や一般の方に多大な影響を与えている功績は高い評価を得ている。</p>
<p>星川 信 （ 56 歳）</p> 	発電機・発動機修理工	<p>日本製鉄（株） 室蘭市</p>	<p>昭和56年4月に機械整備工として入社し、以降エネルギー工場の機械整備に長年携わり、特に発電設備のボイラ・タービンおよび高炉送風機の機械整備に関する技能は卓越したものがあ、多くの設備改善・開発を推進し、これら設備の安定化と安定操業に寄与してきた。当該技能の高さは、日本ボイラ協会北海道支部から優良ボイラ整備士としての表彰を受けた実績があるほか、他製鉄所内の発電所定期検査の調査・改善提案や、後進の指導・育成に貢献しており、全道・業界内でも高い評価を得ている。</p>
<p>馬場 久仁彦 （ 57 歳）</p> 	製鉄工	<p>日本製鉄（株） 登別市</p>	<p>昭和56年4月にコークス工として入社し、以降終始コークスの製造の業務に従事し、コークス炉の安定操業・生産性向上や長寿命化への寄与に加え、コークス炉作業の安全面や作業負担面で課題の多い作業の改善等、数々の改善・開発を行ってきた。技能の高さは所内に留まらず、平成6年から平成15年にかけて国家プロジェクトとして行われた次世代コークス製造技術開発（SCOPE21）において、パイロットプラントのコークス炉の建設・試験操業に抜擢され、試験の成功と新技術の確立に貢献するなど、業界内でも高い評価を得ている。</p>
<p>安藤 聡 （ 53 歳）</p> 	理容師	<p>スキルカンパニーロネッツ 函館市</p>	<p>平成4年4月に独立開業以来、技術の向上に努め積極的に理容競技大会への出場を重ね、全国理容競技大会へは、平成5年から平成12年までの間に7回出場し、平成12年には全国優勝の栄誉に輝いた。さらに、平成14年7月にアメリカで開催されたヘアワールドラスベガス（世界大会）では準優勝に輝き、世界的にも評価された高い技術を有している。高い技術力の裏付けにより、平成18年・23年・30年には全国理容競技大会審査委員を務めるなど、全国レベルでの業界への貢献と合わせて、全国の各組合からの招請に応じ、積極的に講師としても活躍している。</p>

氏名（年齢）	職名	団体名・企業名 現住所	功績の概要
岸谷 義人 （ 51 歳） 	美容師	（有）アートヘアーライズ 旭川市	昭和63年に美容師となり、平成6年に独立。美容カット技術の中でも高度なテクニックが必要とされるドライカット技術を平成9年に習得し、全国ドライカットクラブの中では北海道唯一の認定者となる。平成17年、ヘアー技術が評価され、全日本美容業生活衛生同業組合連合会が発行する美容業界誌の表紙にヘアー作品が掲載された。その卓越した技術・技能・知識を存分に発揮し、平成13年には北海道美容技術選手権大会の審査委員を、平成21年には全日本美容技術選手権大会の審査委員を務め、その後数々の大会で審査委員を歴任し、道内の美容業界発展に貢献するとともに、後進技能者の指導育成に尽力している。
後藤 時雄 （ 69 歳） 	塗装工	（有）後藤塗装 旭川市	昭和51年3月独立開業して技能の研鑽に努め、特に外壁の大壁工法の鍍塗においては、業界及び一般ユーザーからの信頼・実績も厚く高い評価を得ている。平成19年より建築塗装技能検定委員、平成20年から平成29年は主席検定委員を務め、また平成19年より全北海道技能競技大会の1級競技委員、平成25年からは2級主席競技委員も務めるなど、業界発展及び後進技能者の指導育成に多大な尽力をしている。
佐藤 英行 （ 60 歳） 	内装仕上工	（株）舎 佐藤畳内装店 旭川市	昭和56年、表具師を志し、内装工事の技術を習得。平成4年に表装（壁装）技能士1級取得を始めその後数々の技能士資格を取得する。平成11年度全北海道技能競技大会において1級組第1位となり、平成12年度第19回全国技能グランプリでは敢闘賞を受賞している。1級技能士の資格を5種類取得しそれらの技術を基に特に寺院、仏閣に於いて畳と表装の作業を融合させた作品を手がけ、誰も作業したことがないものを仕上げており、今まで培った技術を1歩も2歩も進化させている。平成22年度から北海道職業能力開発協会の技能検定委員を務め、技能士の育成、検定制度の普及にも貢献している。
高橋 秀寿 （ 50 歳） 	木工	（有）高橋工芸 旭川市	27年7ヶ月間の勤務経験を基に、手加工・機械加工・デザイン設計・塗装技能の研鑽に努め、世界に通用する工芸品の生産技術と開発力は、特に優れており、全国のクラフト・工芸展に入選を果たしている。また、経済産業省が認定する日本が誇るべき優れた地方産品「The Wonder500」に平成27年から3年連続で選出されており、国内の業界も認める技術者として、厚い信頼と多くの実績を重ねている。また、職業訓練校の指導員の研修を実施するなど、木工施盤加工の技術を継承、普及している。

氏名（年齢）	職名	団体名・企業名 現住所	功績の概要
野原 修一 （ 61 歳） 	タイル張工	（有）野原タイル 旭川市	昭和52年4月よりタイル張工として技能の研鑽に努め、伝統的な積上げ張り（だんご張り）はもとより、湿式工法・乾式工法などの様々な工法を習得し、42年有余の長きにわたり、一筋に励み腕を磨いてきた。平成4年に1級タイル張り技能士、平成26年にはものづくりマイスターに認定されるなど、地域業界の指導的役割を果たしており、その卓越した技能もさることながら、職業訓練指導員の資格を取得し、技能検定委員を務めるなど、後進技能者の指導育成に長年にわたり尽力しており、タイル業界全般の技能向上にも貢献している。
武藤 一弘 （ 77 歳） 	写真工	（株）メモワール （むとう写真場） 旭川市	昭和32年4月より肖像写真家として、技能の研鑽に努め、昭和44年11月の全国婚礼写真コンテスト入選をはじめ、昭和56年3月にはラスベガスで開催された国際婚礼写真コンテストで銅賞を受賞し、平成29年9月には道内では4人目の全技連マイスターの写真部門に認定されており、その技能は業界随一である。また、毎年開催される技能フェスティバルには写真マイスターとして参加し、後進の指導育成に尽力し、業界の発展に大きく貢献している。
五十嵐 勉 （ 62 歳） 	型わく工	（株）五十嵐建設 帯広市	昭和61年に入社以降、型枠建築一筋に技能・技術の研鑽に努め、平成6年には型枠施工1級技能士の資格を取得。このほか、平成7年には建築1級施工管理技士の資格を取得、平成27年にはものづくりマイスターに認定される。また、平成7年度から帯広地方高等職業訓練校のコンクリート施工科の副科長、科長として若手技能者の指導育成に尽力し、平成18年度から技能検定員を務めるなど、その卓越した技能は業界技能者のレベルアップに大きく貢献し、業界の第一人者として多方面で活躍している。
鈴木 克弘 （ 61 歳） 	内装仕上工	（有）丸建すずき 中標津町	昭和52年より表装工技術職として従事し、現場での長年の経験により、裁断等の作業技術が優れていることで、建築関係者や依頼者からの高い評価を受けている。また、クロスの合わせ目の正確さと、壁紙へ糊をつけるタイミング、最終仕上げで最も重要なカット作業の特殊技術は卓越した技能の一つとして評価されている。技能検定に伴う検定員として若手技能士に技能の指導を行い、卓越した技能士として現在もなお、地域はもとより他の業界からも信頼されている。